

## 福井循環器病院連携通信

2017.春  
第14号

(財)日本医療機能評価機構認定病院



福井循環器病院は、  
(財)日本医療機能評価機構が定める認定基準を達成していることを  
証する認定証の交付(平成25年1月18日付)を受けています。

### 理念

私たちは いついかなる時も  
自分たちの持てる力を 充分に発揮し  
最先端の医療を 提供できる様に 常に研鑽を積み  
患者さんに豊かな人生を 提供いたします

ほっと  
ハート



院長 堤 泰史

### 緊密な地域医療連携に向けて

災害に明け暮れた申年もようやく終わり、新しい酉年が始まりました。当院連携の諸先生方におかれましては、ますます健勝のことと存じます。

さて当院は、昭和42年に全国2番目に循環器専門病院として開設され、本年で50年の節目を迎えます。これも先生方のひとかたならぬ御支援の賜と感謝しております。その間、循環器領域では最先端の医療を提供する意気込みで頑張って参りましたが、近年人口構成ピラミッドが大きく変わり、団塊の世代700万人が後期高齢者となる2025年問題が大きく取り上げられる世の中となって参りました。我々を取り巻く環境も今後大きく変化していく時期に来ていることが予想されますが、医療行政はどんどん資源の削減に向けて進行しつつあります。しかし国の狙いの一つに頑張っている病院の評価と、しっかりしていない病院の評価を厳格化することも挙げられます。当院は、従来の心臓大血管手術や冠動脈形成術に加え、重症心不全に対する補助人工心臓の植え込み、カテーテルによる大動脈弁置換術など先進医療をいち早く取り入れ、さらには不整脈に対するカテーテルによる焼灼治療が年間200症例を超える増加の一途を辿っていますように、移植治療以外の循環器治療は、質および量的にも都会の一流施設と遜色なく治療可能な病院へ成長しつつあります。今後は急性期治療は当院で行い、慢性期および回復期には連携の施設で診て頂くという区分けが進んでいくものと想像されますが、それには連携諸先生方との更なる密な関係構築が必須であると考えます。当院は急性期専門病院としての砦は死守する覚悟で今後も頑張っていく所存で御座います。何卒、今後とも宜しくお願い申し上げます。

### 福井循環器病院 地域医療連携室

受付時間/平日 8:30~17:00

土曜 8:30~13:00

TEL:0776-54-5761(直通)

FAX:0776-54-5977(専用)

E-mail:heart-renkei@fcvc.or.jp

※左記、受付時間以外の電話・FAXは  
下記番号までお願い致します  
TEL:0776-54-5660(代表)  
FAX:0776-54-5977(時間外外来)

### 〈小児科2016〉



西田 公一



岡崎 新太郎



昨年度、平成27年度の小児科の活動を総括いたします。

平成24年から平成27年度にいたる当科の診療実績の推移です。(表1・表2)

入院数・カテ数がともに近年では突出して多く、比較的忙しい一年でした。特筆すべきは成人例の増加であり、小児カテーテル症例81例のうち、実に13例が20歳以上の成人例でした。この傾向は本年度もさらに増してきており「小児科入院の大入・高齢者」というのも珍しくない光景となっていました。ちなみに平成27年度の小児カテの最高齢者は63歳の女性でしたが、この記録は平成28年すでに塗り替えられています(76歳)。小児科での成人診療はもはや二ッチャーマーケットではなくなってきた感がありますが、我々も所詮中身は小児科医であり成人、高齢者診療には大きな不安と危険を感じています。ある程度当科の対応可能領域にリミットを設け、院内の診療科と有機的に診療連携していくことが重要かと考えております。

表1 小児科外来患者数、入院数の推移

	外来患者総数	新入院患者数
平成 24 年	2976	122
平成 25 年	2951	103
平成 26 年	2774	118
平成 27 年	2780	161

表2 小児科カテーテル数、インターベンション数の推移

	カテーテル件数	インターベンション
平成 24 年	56 例	7 例：APCA コイル塞栓 2 例 PTA2 例 BVP3 例
平成 25 年	57 例	13 例：PDA コイル塞栓 1 例 APC A 塞栓術 7 例 PTA2 例 BVP1 例 BAS2 例
平成 26 年	60 例	7 例：PDA コイル塞栓 1 例 APC A 塞栓 2 例 PTA1 例 BVP2 例 BAS1 例
平成 27 年	81 例	15 例：PDA コイル塞栓 2 例 APC A 塞栓 2 例 PTA8 例 BVP3 例

\*PDA=動脈管 \*PTA=カテーテル血管形成術 \*APCA=体肺側副血管 \*BVP=バルーン弁形成術

また、当科の動きとしては、本年度私西田が小児循環器学会の評議員を拝命し、長らく空席だった福井県の議員席をようやく埋めることができました。その流れもあり今年は学会発表、論文執筆など学術面の充実を一大目標に掲げていますがそのほとんどは進境著しい岡崎医師に担っていただく予定としています。

今後とも小児科をよろしくお願いいたします。

## 〈部署紹介 手術室〉

手術室看護師は現在13名（パート1名）、補助者2名の合計15名のスタッフから成り、患者さんが安心して手術を受けられるように、日々安全・安心を心がけ手術看護を提供しています。外回り看護では、安全な麻酔導入ができるよう全身麻酔症例に対し術前訪問を行っています。面談から得た情報から、手術当日は好みの室温、容姿、身体に合わせた体位の工夫など手術直前まで普段の生活スタイルのまま安心して入室して頂けるよう努めています。



手術室には手術看護認定看護師が1名おり、周術期看護を充実させるために麻酔科医師とともに看護師への指導を行い、スタッフは新しい知識と技術を習得するよう努めています。

現在、感染管理認定看護師取得に向け手術室から1名研修に参加しており、さらなる看護師の知識・技術の向上につなげられるよう研鑽していきたいと思っています。



## 新任医師の紹介



循環器内科医員 栗田康寿  
卒業年次：平成23年  
専門領域：循環器内科

精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いします。



心臓血管外科医員 山田翔平  
卒業年次：平成25年  
専門領域：心臓血管外科

まだまだ駆け出しだすが  
精一杯頑張ります。

## 患者さんの権利

福井循環器病院で医療を受けられる患者さんには次のような権利が保障されます。

1. 個人としてその人格を尊重される権利
2. 良質で高度な医療を公平に受ける権利
3. 充分な説明を受ける権利
4. 自己決定の権利
5. 選択の自由の権利
6. 情報の開示を求める権利
7. プライバシーの保護と秘密を保持される権利

患者さんには、良質で安全かつ効率的な医療の提供を受けて頂くために次のことをお願いいたします。

- ご自身の健康に対する正しい情報の提供と医療への積極的なご参加
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたさないためのご協力
- 療養上、必要な制約を受けることへのご理解

## 地域医療連携室に 新しい仲間が加りました



MSW 山本正朗 MSW 庄下幸江

人生経験は豊富ですが、MSWとしてはまだまだこれからです！  
今後ともよろしくお願いいたします。



〒910-0833 福井市新保2丁目228番地  
TEL.0776-54-5660(代)

●ホームページ <http://www.fcvc.or.jp/>  
●Eメール heart-hospital@fcvc.or.jp

## 診療案内

### 診療科目

心臓血管外科・循環器内科・消化器外科  
小児外科・麻酔科・外科・内科・呼吸器内科  
内分泌内科(糖尿病)・小児科(小児循環器科)  
眼科・放射線科・脳神経外科  
リハビリテーション科

### 診療指定

- ・保険医療機関
- ・労災保険指定医療機関
- ・労災保険二次検診等給付医療機関
- ・生活保護法指定支援医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・障害者自立支援法による指定自立支援医療機関
- ・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による指定医療機関
- ・救急告示病院
- ・地域医療支援病院(開放型病床)

### その他

人間ドック・訪問看護・居宅介護支援

### 保険診療届出事項 (基本診療料の施設基準)

- 一般病棟入院基本料  
(7対1入院基本料)
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算  
(50対1補助体制加算)
- 急性期看護補助体制加算(50対1)
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 退院支援加算1
- 特定集中治療室管理料3
- データ提出加算
- 呼吸器ケアチーム加算
- 入院食事療養(I)

### 施設資格 (認定施設)

- 胸部ステントグラフト実施施設
- 腹部ステントグラフト実施施設
- 埋込型補助人工心臓実施施設
- 経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設

## 地域医療支援病院

医療法人 福井心臓血管センター

F 福井循環器病院